

## 漢方製剤

# 響声破笛丸エキス顆粒K

響声破笛丸は声の出し過ぎなどによるしわがれ声やのどの不快感を改善する働きがあります。本剤は漢方処方である響声破笛丸の生薬を抽出し、乾燥エキスとした後、服用しやすい顆粒剤としました。



### 使用上の注意



#### してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

1. 次の人は服用しないでください  
生後3ヵ月未満の乳児。
2. 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けてください



#### 相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください  
(1) 医師の治療を受けている人。  
(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。  
(3) 体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)。  
(4) 胃腸が弱く下痢しやすい人。  
(5) 高齢者。  
(6) 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。  
(7) 次の症状のある人。  
むくみ  
(8) 次の診断を受けた人。  
高血圧、心臓病、腎臓病
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	食欲不振、胃部不快感、はげしい腹痛を伴う下痢、腹痛

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診察を受けてください。

症状の名称	症 状
偽アルドステロン症、 ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つばり感やこわばりに加えて、 脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがありますので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください  
軟便、下痢
4. 5～6日間服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください
5. 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

## 〔効能・効果〕

しわがれ声、咽喉不快

〈効能・効果に関連する注意〉

体力に関わらず、使用できます。

## 〔用法・用量〕

次の量を食前又は食間に、水又はぬるま湯で服用してください。

年 齢	1 回量	1日服用回数
成人（15才以上）	1包	3回
7才以上15才未満	2/3包	
4才以上7才未満	1/2包	
2才以上4才未満	1/3包	
2才未満	1/4包	

## 〈用法・用量に関連する注意〉

- (1) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- (2) 1才未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、止むを得ない場合にのみ服用させてください。
- (3) 食間とは食後2～3時間を指します。

## 〔成分・分量〕

3包(7.5g)中

響声破笛丸乾燥エキス5.54gを含有しています。

日局レンギョウ ……2.5 g	日局キキョウ ……2.5 g
日局カンゾウ ……2.5 g	日局ダイオウ ……1.0 g
日局シクシャ ……1.0 g	日局センキュウ ……1.0 g
カシ ……1.0 g	日局アセンヤク ……2.0 g
日局ハツカ ……4.0 g	

上記生薬量に相当します

添加物として、アスパルテーム(L-フェニルアラニン化合物)、スクラロース、還元麦芽糖水アメ、ステアリン酸Mgを含有しています。

## 〔保管及び取扱い上の注意〕

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わることがあります。)
- (4) 本剤は吸湿しやすいので、1包を分割した残りを服用する場合には、袋の口を折り返してテープ等で封をし、なるべく1日以内に服用してください。(開封状態で置いておくと顆粒が変色することがあります。変色した場合は、服用しないでください。)
- (5) 本剤は生薬(薬用の草根木皮等)を原料として使用していますので、製品により色調等が異なることがありますが、効能・効果にはわかりありません。
- (6) 使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

本剤のご使用により、変わった症状があらわれるなど、何かお気づきの点がございましたら、お買い求めの薬局・薬店又は下記までご連絡頂きますようお願い申し上げます。

コー製薬株式会社【お客様相談室】  
電話045-562-5871  
時間9:00～17:00(土・日・祝日を除く)

副作用被害救済制度の問い合わせ先  
(独)医薬品医療機器総合機構

[http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai\\_camp/index.html](http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html)  
電話 0120-149-931(フリーダイヤル)

発売元 **日邦薬品工業株式会社**  
東京都渋谷区代々木3-46-16

製造販売元 **コー製薬株式会社**  
横浜市港北区箕輪町2-17-5